

発達障害臨床における WISC-V / WAIS-IVを 活用したアセスメント

— 支援に生きる 診断・評価のために

自閉症スペクトラム(ASD)特性のある方々の支援のためには、丁寧なアセスメントに基づく診断と評価が不可欠です。しかし、ASD特性はバリエーションの幅が広く、その現れ方も多様なため、ASD特性が見逃され、適切な支援を受けられていないことがあります。

本講座では、ASD特性や認知特性についての基本的な知識を整理するとともに、WISC-V/WAIS-IVの結果や行動観察から、ASD臨床に必要な情報を的確に提供できる専門家を養成することを目指します。

WISC-V/WAIS-IVにおける観察のポイントを解説した上で、実際の映像を見ながら所見の取り方の演習とディスカッションを行いますので、より実践的なプログラムになっています。そのため、検査の実施方法などについての解説や演習はありませんので、予めご了承ください。

日程・プログラム（*オンラインによるリアルタイム参加のみ*）

▼2023年4月15日(土)

10:00～17:00（質疑/休憩含む）

【講義】

自閉症スペクトラムの診断

情報収集のポイント・支援の考え方/伝え方

実施上の配慮と検査でみられるASDの特徴

▼2023年4月16日(日)

10:00～16:30（質疑/休憩含む）

【ビデオ演習・ディスカッション】

認知特性の評価と解説（WISC-V/WAIS-IV）

ASDの三つ組の評価と解説

【講義】

報告書の書き方とまとめ/質疑応答

